

## 令和6年度 第2回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年8月26日(月) 15:20～16:20

2 場 所 盛岡第三高等学校 大会議室

3 出席者 8名/13名

(自治会代表、PTA代表、行政関係、近隣小中学校長、地元企業、同窓会代表、本校校長)

土川 敦 高畑 嗣人 三浦 隆 觸澤 吉輝 影山 佳奈  
森 理彦 藤村 誠 木村 基(校長)  
(委任状提出者 海野 尚 大下 伸一 桜 ひろこ 高木 浩一  
阿部 俊之)

4 内容

(1) 議題

ア 経過報告

イ 学習に関するアンケート結果について

ウ 進学型単位制について

(2) 意見交換

【校長あいさつ】

生徒の様子を紹介します。今週の金曜日、土曜日が三高祭ということで、それに向けて準備を進めている。昨年度4年ぶりに一般公開を行い、1400名を超える来校者があった。今年度も多くの方々に来校いただければと思います生徒たちは準備を進めている。今年のインターハイは北九州地区で行われた。女子ソフトテニスとなぎなた女子で出場した。全国高総文祭は岐阜県で行われ、吹奏楽部、文芸部、理数探究クラスの物理班、化学班が出場した。また東京で行われたNHK杯全国高等学校放送コンテストには視聴覚委員会が出場した。いくつかの試合や発表を実際に見てきて、全国の舞台上で堂々とパフォーマンスを發揮する姿はさすが三高生だなというふうに関心した。また、7月には、音楽部の定期演奏会、吹奏楽部のサマーコンサートなど、それぞれ通常どおりに開催した。そして多くの方々にご来場いただいた。特に吹奏楽部のサマーコンサートは県民会館の大ホールがあつという間に満席になり、当日券を早々に完売するというので、人気の高さに驚かされた。ホットな話題とし8月22日に全国高校生短歌バトルが行われ、本校の2年生の生徒が最優秀作品ということで選ばれた。

これらの生徒を含めて生徒は一生懸命に学校生活を頑張っているところである。

(1) 議題

ア経過報告、イ学習に関するアンケート結果、ウ進学型単位制に係る説明内容は割愛

(2) 意見交換

ア 経過報告について

【委員】例年より夏休みが短くなったということだがなぜか。

(副校長) 一つは、本校を会場としている外部試験が早まったことに加え、その前後の様々な行事等の日程の都合を調整する中で結果的に短くなった。特に中学生への学校説明会を終業式の翌日に実施したいということもあり、そのような日程となった。それに伴って夏季課外の方も短い日程で行った。

【委員】冬休みは長くなったり、短くなったりはしないか。

(副校長) 授業日数としては例年とそんなに変わらない日数となっている。本年度3月の特色入試の入試日程などもあるので、そういうところで調整しながら進めていくので、全体としてはそんなに変わらない状況となっている。

## イ 学習に関するアンケート結果について

【委員】学習時間というのは、塾の時間とかも入ってるか。

(担当課長) 家庭での学習時間を想定してのアンケートなので、塾の時間は入っていない。

【委員】三高では、スタディサプリを採用されているはずで、生徒はスタディサプリを使って学習することもあると思うのだが、スタディサプリの活用状況など聞かせてほしい。

(担当課長) 資料は特にないが、生徒達は、スマホやタブレットを使ってやってるようだ。2学年では7月に情報の学び直しということで、課外でスタディサプリの画像を映して、その後小テストのようなものを実施した。他にも国語とか数学とか社会の方でも課題を配信し、それらを視聴している。視聴している生徒は一定数いるようだが、詳しい数字はちょっと手元にないがそういった状況だ。

【委員】生徒が視聴したら先生の方からわかるのか。

(担当課長) わかる。一覧で、生徒が何時間見ているとかはデータとして確認できる。

【委員】小学校とか小さい頃からさかのぼって学習できるもののようなのだが。

(担当課長) そうだ。あとは付属のテストを受けて、その生徒の苦手な分野に合わせた課題を、システムの方で、AIのようなのだが、反芻して進めるといったもののようなのだ。

【委員】アンケートの「スマホにかけている時間」が、スタディサプリをやっている時間とは限らないということでもいいのか。アンケートでは、何に使っているかわからない、前向きに使っているのか、そうでないかの時間的な数字には表れてこないということか。

(担当課長) そうだ。スタディサプリの実施はスマートフォンだけとは限らないので、タブレットとかも使っている生徒もいると思うので、なかなかその線引きは難しいと捉えている。

【司会】参加生徒の皆さんは、スマホの使い方はどうか。

(生徒) 自分は自宅では30分くらいの使用となっている。

【委員】学業と部活動の両立のところ、中途半端ということで答えていた生徒には、先生方の方でフォローとかアドバイスとしているのか。

(担当課長) 担任が個々に面談を行っているのだが、そこで話が出なければ相談できていないかもしれない。

【委員】どっちも頑張っていっていいのだが、個々でその頑張りや取組の大きさが違うかもしれないので、中途半端という気持ちでいる生徒が減ってくれればと思っている。もし、そういった生徒がいたならフォローしてもらえればと思って話した。

【司会】学年が進むとそういった生徒が多くなるのか。

(副校長) 強制的な部活という部分がなくなって自由参加でという体制が進んできている中で、多く

の生徒が活動に参加している。そういった中で、部活に入ったとしてもやっぱり勉強に専念したいと辞めていく生徒がいる。どうやって頑張っていくかっていう、自分の思い描いた通りにいってないということで、中途半端と感じてる生徒がいるのではないか。また、指導者側も、どこまで頑張らせればよいのか、生徒達もどのぐらいまでやればいいのか、このあたりのギャップとかあるのかもしれない。生徒達の方が何か別のイメージを持っているかもしれません。

【司会】参加している生徒さんは、部活動と学業の両立についていかがか。

(生徒)自分は、どちらかっていうと部活動の方を頑張っている。もちろん勉強もというところではありますが。僕個人としての意見なのだが、アンケートで中途半端と答えた人は、例えば部活動で自分よりも上手い人がいたり、勉強でも自分より頭のいい人がいたりします。僕たちの年頃は、人と比較をする時期だと思う。ですから、他の人よりも部活や勉強などが上手くいかないなということで、中途半端だと答えてる人が多くいるのだと思う。なので、部活でも勉強でも、どっかで大きく成長すれば、その後自信になって、その努力の方向性っていうのが見えてくると思う。部活に専念している人は部活で大きく成長してもらって、勉強で頑張ってる人は、一度部活は置いておいて、勉強で。先生方からは、例えばテストで以前よりも点が伸びたとか、自信になるようなことを言ってもらえれば、中途半端って答えている人たちも減るのかなと僕は思います。

【司会】他の人と比べることで、自信をなくしているという状況もあるということなそうだ。

#### ウ 進学型単位制について

【委員】中学生は、三高に対して大きな憧れを持っており、学業や部活動において注目している学校です。来年度から進学型単位制ということだが、中学生や保護者、中学校の教員もどれだけ情報を持っているのか、知らない方もいるのでは。情報発信の仕方は、どうなるのか。何のために導入するのか、特色を持った普通科ということなのか、「進学」に特化したものか、学びがどう変わるのか、目指す方向はどういった方向なのか。

(校長) スクールポリシーはこれまで通り、変わることはない。学校の体制も変わることはない。ただ、生徒の多様化、進路に対する意識の多様化を踏まえて実施するもの。それらを踏まえて、よりきめ細かやかにできる体制づくりを行うもの。

(副校長) 情報の発信としては、学校ホームページや過日行われた学校説明会、あるいは、各中学校で企画した本校への高校訪問の際に保護者の方々にお話をしているところ。

【委員】時間割や教育課程に工夫を加えるなど手厚くなっている。文理融合といったものが求められていると思うのだがいかがか。

(副校長) 文系でも理数科目が選択できるよう教育課程に位置付けている。

【委員】行きたい道、なりたい姿をサポートしてくれるのなら魅力的である。

【委員】娘がお世話になっていた。大学を選ぶときに、授業を受けなきゃない科目があって、ここに行きたいけども受験できないとかそういうことがあった。三高に入る生徒の多くは大学に行きたい、そして少しでも上の大学を目指したいっていうものだと思う。そのときに選択できる科目が沢山ある制度は、私個人としてはいい制度と思う。

説明であったように、学校の基本が変わるわけではないし、導入することで生徒がいろいろ迷ったり難しい問題もあるのだと思うけど、ちょっとでも可能性があって行きたい大学を選べるこういう制度は、いいと思い説明を聞いた。

【委員】今日は、授業から見せてもらった。授業参観と進学型単位制のお話に関わることで、まず、授

業参観では、教科名に探究となっている教科を楽しみに来た。また、併せて進学型単位制に関わっては、生徒が自ら進路計画を立てて主体的に学んでいくこと自体がこれから望まれる学びのスタイルだと思う。探究、あるいは参加型学習とかは、授業の質も変えるということの一つの提案として見させていただいた。教科の中身の話を子供たちは真剣に一生懸命に聞いているなという印象だった。ただ、探究という言葉のイメージからすると、多分教師の言語量より生徒の言語量が増えて、ディスカッションとか、そんなのが増えていく方向にあるというのがねらいかなと受け取った。そのことと進学型単位制とのことが繋がって授業の質が変わっていくということも、魅力化になると期待している。

【委員】進学型単位制は、選択科目も増えて生徒に対しても手厚くていいのかなと思います。学びのプラスとかがあるので、進路にも選択肢が広がっていると感じ生徒にとってはいいのものだと思う。

【司会】生徒にとってはどう感じているか。

(生徒)今回、この話を聞いて、もし中学生の頃に聞いていたら、更に興味関心を高めたと思う。もともと、こちらの学校を志望していたので、選択の幅が広がるなど魅力をもっと感じたと思う。

【委員】ある学校の学校説明会に出向いたことがある。そこでは、進学を頑張らせたいということで、話があった。授業をやって課外をやって、生徒によっては、県外へ出向いて指導を受けたりと。そこまでやらなきゃいけないのと感じたことがある。ちょっと違うかなと。本当にやる気ある子は、県外にでも通いますし、塾にも通います。生徒がそこに行くっていう道のために全力を注ぐみたいな形にはならない方が高校としてはいいと思います。

(副校長)進学もさることながら、それだけではなく様々な行事や部活動も探究活動も頑張る、さわやか三高であり続けます。ご支援よろしく申し上げます。

以上